

## 大越まちづくり協議会 大越路をウォーキングで楽しむ

6月23日、大越まちづくり協議会による「2019 元気づくり事業第8回ふれあいウォーキング」が開かれ、家族、グループなど約350人が参加しました。

参加者は、おおごえふるさと館から3キロと7キロの2コースに分かれて歩きました。

コースの途中にはクイズが設置され、クイズも楽しみながらのウォーキングに心地よい汗を流しました。

ゴールした後は、おにぎりや豚汁が振舞われたほか、お楽しみ抽選会も行われました。



◀元気にスタート



◀小学生も大勢参加しました



◀お楽しみ抽選会

## ふるさと会 ふるさとへの思いを寄せて

### 【ふるさと都路会】

6月30日、第21回ふるさと都路会総会が東京都台東区のホテル・パークサイドで開かれ、会員や来賓、市関係者など約60人が出席しました。

総会では今年度の事業計画、予算などすべての議事が承認されたほか、松本会長が市の幼児・教育施設への本の寄贈目録を本田市長に手渡しました。

総会終了後に会設立20周年記念懇親会が行われ、「都路町民の歌」や「故郷」の合唱、「都路一中校歌」と「都路二中校歌」をそれぞれの出身者が歌いあうなど大いに盛り上がりました。恒例のふるさと産品などの抽選会も行われ、楽しいひと時を過ごしました。



◀都路会総会に参加されたみなさん

### 【ふるさと常葉会】

7月7日、第33回ふるさと常葉会総会が東海大学校友会館（東京都）で開かれ、会員や来賓、市関係者など約70人が出席しました。

総会では、8月に常葉行政局駐車場で開催される「ときわお盆の夕べ」にあわせて故郷を訪問する「オールふるさと常葉会交流会」の実施など、提案された議題が全て承認されました。

総会終了後の懇親会では、ふるさと産品抽選会などで親睦を深めるとともに、「思い出の常葉なつかし」を参加者全員で合唱し、ふるさと常葉に思いを馳せていました。



▲常葉会総会に参加されたみなさん

## 地域おこし協力隊 新たに小峰 司こみね つかささんに委嘱

7月1日、埼玉県出身の小峰司さんに福島県と共同設置による起業型地域おこし協力隊の委嘱状を交付しました。小峰さんは、さきに委嘱した2名とともに田村市テレワークセンターテラス石森を拠点に、広告代理店勤務の経験を活かして田村市の魅力発信を中心に、地域の担い手確保や活性化のための活動を行います。



## 経営戦略アドバイザー 地域活性化・にぎわいの創出に期待

7月11日、うつくしま蕎麦王国協議会会長の菅野伸是かんの のぶゆきさんに田村市経営戦略アドバイザーの委嘱状を交付しました。菅野アドバイザーには、蕎麦を活用した地域活性化や賑わいの創出に助言をいただきます。市経営戦略アドバイザーは、地域創生を推進するうえで政策および市政全般について、専門的な立場からの助言を目的に設置しています。ほかに昨年度から4名の方にふるさと納税やインバウンドなどにご助言いただいています。



## 企業と学校の懇談会 採用に向け活発に情報交換

6月26日、市内立地企業と高校・専門学校進路指導担当教諭等との懇談会が、文化の館ときわと常葉公民館で開催されました。この事業は、企業の求める人材確保と地元若年層の雇用促進を目的に毎年行われています。これまでは高校を対象に開催していましたが、今年は新たに県中地区の専門学校も参加しました。船引高校をはじめとする12校の進路指導担当教諭と、市内立地企業35社の採用担当者が出席し、新卒者の採用に関する活発な情報交換が行われました。



## 職業体験 将来の夢、育む

7月13日、一般社団法人Switch主催の「たむらこども未来プロジェクトおしごとスイッチ」が市総合体育館で開催されました。将来の夢や職業観を育むことを目的に企画され、市と市教育委員会が後援しました。

会場には市内外の企業や官公庁が協力し建設業、デザイン、エンジン解体など、さまざまな職種のブースが設置されました。

子どもたちがそれぞれのブースで職業体験を楽しみ、大勢の来場者でにぎわいました。

